

令和2年1月

第132号

道北支部ニュース

発行人 前田 健太郎

編集人 近藤 伸英

Index

- ✓ 支部長新年あいさつ
- ✓ Academic PT
- ✓ 道北支部掲示板
- ✓ 道北支部役員会議議事録

支部長新年あいさつ



道北支部の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。さて、皆さんの今年の目標はいかがでしょうか。子年は1番目の干支ということで原点回帰の年でもあるようです。半田会長は昨年PTジャーナルで「はじめはマッサージ行為との差別化が大変であった」と述べています。「リハビリテーション」や「理学療法」という用語すら新しかった時代に、なんとか本来の意味を知ってもらおうと必死だったそうです。理学療法週間やその他の社会部活動も元々は「理学療法」の啓発が目的です。先輩達の努力によって「理学療法士」や「リハビリテーション」という言葉自体は定着し、社会部活動も啓発から純粋な社会貢献へシフトしつつあります。しかしながら、皆さんは現在、「理学療法」を実践しているでしょうか？評価もせずいきなりマッサージしていませんか？集中力を欠いた他動運動をしていませんか？表面的なコミュニケーションにばかり終始していませんか？さらに原点に戻ると、他の人々の人生をより幸せにすることが我々の仕事です。目の前の患者さんやその家族をより幸せにするために、理学療法を実践しましょう。そして余裕のある人はそれを科学的に検証しましょう。後輩や他職種を育てましょう。それが理学療法士の職域を拡げ地位を向上させる最も根源的な方法だと思います。

昨年末は第27回全道学術研修大会・第1回道北支部学術研修大会が開催されました。全道学術研修大会が旭川で開催されたのは10年ぶりのことで、前回当時は大雪病院の木津先生が大会長を務め、「PT、医療経済を考える!」というテーマでした。先進的な内容もさることながら、運営している先生方の輝きを覚えています。全道学術研修大会はこれまで年1回の開催でしたが、昨年は道北、道東、道南の3つの支部で開催されました。実質、支部開催ということで、規模は10年前とは比べ物になりませんが、全国からプロフェッショナルな方々に集まって頂き、私自身も大変勉強になりました。これも講師の先生方をはじめ、熱意ある運営委員達、そしてご参集いただいた皆様のおかげです。この場を借りてあらためて感謝申し上げます。

今年は第71回北海道理学療法士学術大会が旭川で開催されます。東京五輪も開催される節目の年に、我々の原点ともいべき学会が旭川で開催されることは大変喜ばしいことです。このような大きな会の運営は大変ですが、企画が成功したときに皆で分かち合う喜びは代えがたいものがあります。また、一生懸命働いている先輩の後ろ姿は、きっと若い会員たちの思い出に残り、更なるムーブメントを生むでしょう。「志」という大会テーマの通り、気持ちや想いを前面に出した、道北支部らしい会になってくれることを願っています。本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう心からお祈り申し上げます。

2020年元旦 道北支部支部長 前田 健太郎

Academic PT

森山メモリアル病院 通所リハビリテーション事業所 岩瀧 廣大

この度は寄稿する機会を与えて頂き本当にありがとうございます。平成17年に北海道千歳リハビリテーション学院(現北海道千歳リハビリテーション大学)を卒業後、森山メモリアル病院に就職、主に介護保険分野を担当し、4月で勤続15年になります。その中での経験を述べていきたいと思ひます。

就職1年目は外来と通所リハビリテーションの担当でしたが、2年目から理学療法士は私1人でデイサービス担当となり、他職種との連携の難しさを痛感しました。例えば、片手介助があればゆっくりと歩ける片麻痺の方がいた場合、それを介護、

看護スタッフに伝えるのですが、「やり方が難しい」「転ばせるかもしれないから車椅子介助にしたい」など否定的な意見を受けることも少なくなく、各スタッフにわかりやすく介助方法を伝え、その意義を理解してもらう必要がありました。特に介護スタッフは未経験者も多く、コミュニケーション能力が不足していた当時の私では、連携を図ることがほとんどできていませんでした。また、介護業界の深刻な人手不足から送迎車や除雪車(朝6時出勤)の運転業務、時には入浴介助が加わり、その負担の大きさから理学療法士としての自信を失っていた時期がありました。

そこで、研修会や学会、社会活動に参加して理学療法士としての資質を高めたいと強く思うようになりました。道北支部には熱意がある多くの会員がおり、そういった方々から知識とエネルギーを頂いたことで、日々前向きに業務に臨めるようになりました。数年が経過すると送迎業務→家族とのコミュニケーション、住環境を把握するチャンス、朝6時からの除雪車の運転→早起きの習慣獲得、入浴介助→全身の状態の確認など、つらいと感じていた業務に対する利点に目を向けられるようになってきました。また、他職種との連携にはアサーティブ(自分の気持ちや意見を、相手の気持ちも尊重しながら、誠実に、率直に、そして対等に表現すること)なコミュニケーションが重要であると感じるようになり、それに気づいてからは少しずつ連携が図れるようになりました。

平成25年からは通所リハビリテーションに配属となり、時代の流れから利用者様の社会参加に対するアプローチを意識するようになりました。第65回北海道理学療法士学術大会で「フライングディスク競技者を通所リハビリテーションで支援した取り組み～スポーツを通じた社会参加と機能訓練からの脱却～」でも発表させて頂きましたが、障がい者スポーツ指導員の資格を取得し、通所リハビリテーションの利用中にフライングディスクを指導した経験があります。片麻痺の利用者様が全道大会で優後後、全国大会に出場し、そのことが北海道新聞の記事になりました。この経験が社会参加をより推進していきたいと強く思うきっかけとなりました。

仕事以外では、趣味レベルですが、英会話、剣道も楽しんでいます。英会話は社会部のスポーツ支援活動で海外の競技者をサポートする時に必須となります。パソコンのカメラを通して、大体毎日21:30-22:30に自宅でレッスンを受けています。私の場合は英文の健康に関する記事を読みながらディスカッションしたことをノートに書いており(写真参照)、知識の向上にも役立っています。実際に通う英会話教室よりもずっと安く、続けやすいのでおすすめです。剣道は昨年3段を取得し、週1-2回程度ですが、2人の子とも達と一緒に稽古に励んでいます(写真参照)。自分自身も心身ともに健康であるために、これからも続けていこうと考えています。私の唯一の自慢で子どもの頃から体調不良を理由に遅刻、欠席、早退をしたことが一度もありません。体調管理は療法士の基本であると常に心掛けています。

最後に、院外に出て多くのことを経験しましょう。現在、道北支部社会部部長を務めさせて頂いており、介護予防事業、スポーツ支援事業は事前研修会も含めると年間で約30事業あります。北海道では道北支部が1番の事業数ですが、まだまだ多くのニーズがあり、対応しきれっていません。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。1人1人必ずできることがあります。是非、自分の知識や技術、周囲の環境を低く評価せず、今できることに目を向けて行動して下さい。行動には必ず経験が伴い、明日の糧になってくれるはずです。

Do what you can, with what you have, where you are.

あなたにできることをしよう。今あるもので、今いる場所で。

-Theodore Roosevelt(セオドア・ルーズベルト)の言葉を引用



剣道の様子



英会話ノート

第71回 北海道理学療法士学術大会



大会長 **千葉 恒**

(介護老人保健施設ふらの)

主催

公益社団法人日本理学療法士協会北海道ブロック
公益社団法人北海道理学療法士会

日時: 令和2年7月18・19日

場所: 旭川市民文化会館

基調講演

加藤 浩 氏

(九州看護福祉大学大学院 教授)

テーマ

「臨床理学療法士に求められる研究と科学」

特別講演

阿部 浩明 氏

(広南病院 リハビリテーション科 総括主任)

テーマ

「理学療法士としての志

～自分の考えをデータを示して発言できる臨床家を志して～」

第71回北海道理学療法士学術大会 演題募集延長のご案内

【演題募集期間】

2019年12月1日(日)正午～

2020年2月3日(月)正午まで

演題募集期日となりましたが、日頃の臨床経験や研究の成果を發表していただく機会を広げるため、演題募集期間を延長することといたしました。奮ってのご応募、準備委員一同、心よりお待ちしております。是非とも、より多くの演題を貴施設よりご応募頂きたくお願い申し上げます。

また、当日には多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<次号予定>

- ✓ AcademicPT
- ✓ 支部事業活動報告
- ✓ 道北支部掲示板
- ✓ 役員会議議事録

～編集後記～

遅ればせながら、あけましておめでとうございます。今年もより良い支部ニュースを作成するべく、頑張っていきたいと思っております。今年度は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、にぎやかな1年となりそうです。当校の学生にパラリンピックについて何個か質問しましたが、認知度はまだまだ低かったです。私の奥さんに限ってはポツチャしか知りませんでした。

オリ・パライヤーの今年度は、一般の皆様にも理学療法士や障害者スポーツについて知ってもらえる良い機会なのではと個人的に思っております。

問い合わせ先 北都保健福祉専門学校 近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp